

2011年(平成23年)度  
経済財政政策関係業務等に必要システムに係わる  
業務・システム最適化実施評価報告書

2012年8月21日  
内閣府本府情報化推進委員会決定

1. 経済財政政策関係業務等に必要システムの概要

項目	内容
個別管理組織担当課室名	内閣府経済社会総合研究所総務部
府省全体管理組織担当課室名	内閣府大臣官房企画調整課情報システム室
対象期間	2011年4月1日～2012年3月31日
最適化工程の段階	設計・開発段階、運用段階

2. 設計・開発段階、運用段階における評価

(1) 設計・開発段階における評価

プロジェクトの実施・推進(国民経済計算システム)

(最適化の実施内容)

新システムの設計・開発及び進捗管理の実施。

(最適化の実施状況)

2011年度、2014年度末までに承認された業務・システム最適化を完了させるため、CIO補佐官や関係部署との調整を経て、調達手続により業者を決定し、さらにCIO補佐官や関係部署と連携し、以下の①および②の全体設計および個別設計・開発を実施した。

①全体設計：完全オープン化に向けた標準化等の指針やレガシーマイグレーションの具体的手順、プロジェクト管理手法等を設計した(株式会社三菱総合研究所)。

②個別設計・開発：

- ・基本単位デフレータの最適化設計および開発を行った(株式会社SRC総合研究所)。
- ・需要項目別デフレータの最適化設計および開発を行った(株式会社リベルタス・コンサルティング)。

【最適化実施の評価】

○課題及び問題とその原因

特になし。

○対策

特になし。

## (2)運用段階における評価

### システムの運用(景気統計システム)

#### (最適化の実施内容)

新システムの運用。

#### (最適化の実施状況)

2011年度から本格的な運用を行い、景気動向指数及び機械受注統計について、景気統計システムを用いた公表体制へ移行した。公表作業について問題なく進めることができた。

#### 【最適化実施の評価】

##### ○課題及び問題とその原因

特になし。

##### ○対策

特になし。

## 3. 最適化の効果の評価

2011年(平成23年)度、全体最適化の効果は発現しない。

## 4. 最適化実施の総合評価

再スタート後の「国民経済計算システム(SNA)」の最適化プロジェクトは、概ね適切に進んでいる。

2012年度においても、引き続きCIO補佐官及び関係部署間で緊密に連携し、SNAの以下の個別システムの設計・開発の調達およびプロジェクト管理を行う。

- ・コモディティフロー推計(年次推計)
- ・付加価値推計(年次推計)
- ・SNA産業連関表
- ・民間企業資本ストック推計

なお、「景気統計システム」については、前述のとおり2011年度から新システムを用いた公表体制へ移行し、問題なく運用できている。

## 5. その他

なし。

## 6. 添付書類

なし。